

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【公表番号】特表2013-516404(P2013-516404A)

【公表日】平成25年5月13日(2013.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-023

【出願番号】特願2012-546557(P2012-546557)

【国際特許分類】

A 6 1 K	9/50	(2006.01)
A 6 1 K	8/02	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/327	(2006.01)
A 6 1 K	8/22	(2006.01)
A 6 1 K	31/203	(2006.01)
A 6 1 K	8/36	(2006.01)
A 6 1 K	47/04	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 K	8/25	(2006.01)
A 6 1 K	8/29	(2006.01)
A 6 1 K	8/28	(2006.01)
A 6 1 K	8/27	(2006.01)
A 6 1 K	47/46	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	8/34	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	47/38	(2006.01)
A 6 1 K	8/73	(2006.01)
A 6 1 K	8/81	(2006.01)
A 6 1 K	8/19	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2006.01)
A 6 1 K	8/64	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 0 1 N	25/28	(2006.01)
A 0 1 N	37/16	(2006.01)
A 0 1 P	3/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	9/50
A 6 1 K	8/02
A 6 1 K	45/00
A 6 1 K	31/327
A 6 1 K	8/22

A 6 1 K 31/203  
A 6 1 K 8/36  
A 6 1 K 47/04  
A 6 1 K 47/02  
A 6 1 K 8/25  
A 6 1 K 8/29  
A 6 1 K 8/28  
A 6 1 K 8/27  
A 6 1 K 47/46  
A 6 1 K 47/10  
A 6 1 K 47/12  
A 6 1 K 8/34  
A 6 1 K 47/36  
A 6 1 K 47/32  
A 6 1 K 47/38  
A 6 1 K 8/73  
A 6 1 K 8/81  
A 6 1 K 8/19  
A 6 1 K 47/42  
A 6 1 K 8/64  
A 6 1 P 31/10  
A 6 1 P 31/04  
A 6 1 P 29/00  
A 6 1 P 17/04  
A 6 1 P 17/06  
A 6 1 P 17/00  
A 6 1 Q 19/00  
A 0 1 N 25/28  
A 0 1 N 37/16  
A 0 1 P 3/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月19日(2013.11.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

金属酸化物シェル内に封入されたコアを有するマイクロカプセルを調製する方法であつて：

(a) 水相中で、少なくとも1種の活性剤と少なくとも1種の相変化材料とを含む油相の乳化によって水中油型エマルジョンを調製する工程であつて、前記油相及び水相のうちの少なくとも一方はゾル・ゲル前駆体を含む工程；

(b) 前記エマルジョンをマイクロカプセル形成条件に暴露して、それにより前記マイクロカプセルを得る工程を含む方法。

【請求項2】

前記少なくとも1種の活性剤が、医薬品又は化粧品である請求項1に記載の方法。

**【請求項 3】**

少なくとも 1 種の金属酸化物ナノ粒子を、工程 (a) の水中油型エマルジョンの調製前、調製中、又は調製後に、前記水相に加える請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 4】**

前記少なくとも 1 種の相変化材料を、天然又は合成パラフィン、脂肪族アルコール、脂肪酸、又はそれらの任意の組み合わせから選択する請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 5】**

工程 (a) の乳化前、乳化中、又は乳化後に、金属酸化物塩を前記水相に加える工程を更に含む請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 6】**

高分子剤、二価又は三価の金属塩、多価電解質、及びそれらの混合物から選択される結合又は架橋添加剤を、前記水相に、工程 (a) の乳化前、乳化中、又は乳化後に加える工程を更に含む請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 7】**

前記マイクロカプセルが、室温で、約 2 週間 ~ 2 年間安定である請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記少なくとも 1 種の活性剤と少なくとも 1 種の相変化材料とを封入している前記マイクロカプセルが、約 300 cP ~ 約 1,000,000 cP の粘度を有する請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 9】**

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法によって得ることができるマイクロカプセル。

**【請求項 10】**

金属酸化物シェルによって封入されたコアを含むマイクロカプセルであって、前記コアが、約 300 cP ~ 約 1,000,000 cP の粘度を有し、且つ、少なくとも 1 種の活性剤と少なくとも 1 種の相変化材料とを含み；前記金属酸化物シェルの厚さが、0.1 ~ 10 ミクロンの範囲にあり；そして、前記シェルが、(a) 金属酸化物ナノ粒子、及び (b) 加水分解され、且つ重合されたゾル - ゲル前駆体から得られる、マイクロカプセル。

**【請求項 11】**

前記少なくとも 1 種の相変化材料を、天然又は合成パラフィン、脂肪族アルコール、脂肪酸、又はそれらの任意の組み合わせから選択する請求項 1 0 に記載のマイクロカプセル。

**【請求項 12】**

前記少なくとも 1 種の活性剤を、医薬品、化粧品及び農薬から選択する請求項 1 0 又は 1 1 に記載のマイクロカプセル。

**【請求項 13】**

室温で、約 2 週間 ~ 2 年間安定であることができる請求項 1 0 ~ 1 2 のいずれか一項に記載のマイクロカプセル。

**【請求項 14】**

請求項 1 0 ~ 1 3 のいずれか一項に記載のマイクロカプセルを含む組成物。

**【請求項 15】**

座瘡、乾癬、脂漏症、接触性皮膚炎、感染、酒さ、炎症、及びそれらの組み合わせから選択される疾患、障害又は状態を治療するための、請求項 1 0 ~ 1 3 に記載のマイクロカプセルを含有する、局所投与用医薬組成物。